

子どもワクチンニュース Vol.04

2011年9月発行

認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (JCV)

東日本大震災によるご被災者の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

子どもワクチンの集い in 札幌 を開催しました



心強い札幌のボランティアさんたちです!

2011年8月20日(土)、札幌市において北海道で初めてのJCVイベントを開催しました。今回は、北海道YMCA様より開催場所の提供を、札幌市ボランティア研修センター様よりボランティアスタッフのご紹介を受け、地元の方々と一緒に作るイベントとなりました。広く一般の方々にもご参加いただいた第一部では、細川佳代子理事長より「子どもワクチン活動」についての講演と、スタッフより2011年度ミャンマー視察のご報告を行いました。また支援者様の交流会である第二部は、スタッフより支援者様サポート体制をご説明した後、理事長を囲んで軽食をとりながら、参加者それぞれの「想い」を語り合う、和やかな会となりました。「また北海道に来てください!」など多くのうれしいお言葉を頂戴しました。北海道のみならず、ありがとうございました。



JCV支援先国の最新情報

ラオス人民民主共和国



ラオスの地方の病院内で遊んでいた児童

この春、東南アジアの内陸国、ラオスを視察し、北部山間の古都ルアンパバーンに程近い地方へ足を踏み入れました。豊かとはいえない生活環境でも、住民の目はキラキラして笑顔が絶えず、幸せそうに感じました。全国子ども保健日キャンペーンの様子を視察し、都市から離れた村でも、医療関係者の真剣な対応に接し、接種会場に多くの母子が詰め掛けている様子を見て、この国の未来に大きな期待を持ちました。

ミャンマー連邦共和国



予防接種会場にいた女の子

今年3月に新政権が発足したミャンマー連邦共和国は、予防接種に初めての予算をつけ、教育と母子保健に力を入れる事を宣言しました。この6月に視察に向かった予防接種会場では、お母さん達もボランティアとして会場運営のお手伝いをしており、どの会場でも組織立った、きちんとした運営管理がなされているのが印象的でした。確実に支援がカタチとなっているのを確認することができました。

ご協力紹介

シティ環境 株式会社

ペットボトルキャップ回収協力

シティ環境は、北海道網走市に本社を構える廃棄物処理企業。社名は「街の環境を考える」という意味から名付けられました。オホーツク総合振興局が提唱した「オホーツク自然の守り人宣言」への賛同や、街のゴミをねらうカラス対策など、積極的に社会貢献に取り組んでいます。JCVへの協力は、ペットボトルキャップの回収、換金による寄付です。地域の社会福祉協議会や、たくさんの回収団体の皆さんと協力して、エコキャップ運動を続けています。



地域の幼稚園で集められたペットボトルキャップ

山のパン屋 桑の実

企業のワールドキッズサポーター

「山のパン屋 桑の実」は、山梨県の小淵沢インターから2分、道の駅小淵沢の中にあります。すべてのパン生地に、卵、乳製品を使用せず、砂糖不使用のお菓子や天然酵母のパンなど、安心して美味しい商品を販売しています。桑の実は、2005年から企業として「ワールドキッズサポーター」に参加。毎月定額を寄付することで、JCVの活動を継続支援しています。



山のパン屋 桑の実のパン

株式会社 ヒューモニー

1 Like for 1 Life

電報サービスVERY CARDを運営するヒューモニーは、社員が名刺交換ごとにワクチンを寄付する活動を続けてきましたが、支援の輪を広げたいという思いからJCV公式Facebookページ「いいね!で救える小さな命 1 Like for 1 Life (<http://www.facebook.com/one.polio>)」の企画と、その運営管理を開始しました。トップページの「いいね!」を押して、このページのファンになっていただくと、みなさまに代わって一人分のポリオワクチンを寄付します。



ヒューモニーが運営するJCV公式Facebookページ

KIC築山塾

募金箱の設置

KIC築山塾は、北九州市に拠点を置く学習塾です。教育理念は、「世の中の役に立つ、人をよるこぼせることができる努力の天才を育てる」。子どもたちの夢の実現と共に人間力を育み、学習を通して、社会とのつながりも子どもたちに伝えたいと、2006年にJCVの募金箱を塾内に設置。ほかにも、未使用や使用済みテレホンカードの回収協力にも参加しています。



KIC築山塾の塾生たち